

花園における新型コロナウイルス感染症対策

副園長 恩田 真理

保護者の皆様におかれましては、当施設の運営にあたりご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、今期の機関紙は、新型コロナ、あるいは変異型デルタ株なるものが猛威を振るい、4回目の緊急事態宣言下での発行となってしまいました。保護者の皆様とお顔を合わせ、お話をさせていただきたいと念じて、それはまだ先の様です。

皆様が、一番気にされているのが、花園で生活されている利用者の事であるかと思えます。体調を崩していないか、面会や外出ができずイライラしていないか、体力が衰えてきていないか、おそらくご心配は尽きないのではないのでしょうか。

花園ホームページや法人のInstagramからも、「お知らせ」としてかき氷大会やハンバーガーメニューなどの情報を発信させていただき、利用者の笑顔を皆様へお届けできるように参ります。

ここでは、「花園におけるコロナワクチン接種状況」についてお伝えします。

3月、各ご家庭から事前に「新型コロナワクチン予防接種について」承諾書をいただきました。

5月、深谷市障害福祉課職員から説明を受け、施設あるいは住所地から頂いた接種券を準備し、「予診票」の記入に取り掛かりました。

事前に承諾書をいただいたおかげでスムーズに記入することが出来ました。

7月、嘱託医の須藤医院と調整しながら1回目ワクチン接種しました。

8月、2回目ワクチン接種も対象の方全員が接種を終えることが出来ました。8月16日現在で、93名の利用者が2回目のワクチン接種を完了できました。2回目の接種後のダメージ（発熱・倦怠感・接種部位の痛みなど）が出現された方が、各寮数名おりましたが、数日経過後には通常に戻られており、ホッと一安心しております。

職員においても、6割ほどは2回目接種完了しており、9月末までには概ね接種を望まれている方全てが完了する予定です。接種後も、陽性となる事案もあり、油断はできません。まず、「手洗い・手指消毒・マスク着用」、「三密を避ける」「適宜換気」など、これまで行ってきた基本に立ち返り日々を過ごすことが何よりの対策と感じています。

まだまだ、先の見通しが立てられず、不安は尽きませんが、「できることを1つ1つコツコツ」と言い聞かせ、これまでどおり、しっかりと感染対策を講じていきます。

七夕飾り・七夕メニュー

7月7日、余暇活動として各寮の利用者さんに、七夕飾りを行っていただきました。お願い事も沢山短冊に書いて竹に飾りました。
夕食は彩りがきれいな七夕メニューでした。星をかたどったポテトが可愛らしかったです。皆さん喜んで召上がっていました。



夏の定番！かき氷

7月28日、連日猛暑が続く中、利用者さんに夏ならではの味「かき氷」をその場で削って提供しました。
天候にも恵まれた空の下、みなさん夏ならではの味を嬉しそうに召し上がっており、「またかき氷食べたい!」とお話される方がたくさんいて実施できて良かったと思います。



ブルーベリー摘み取り体験

8月3日、気持ちよく晴れた青空の元、花園保育園、第2こども園の園児さんをお呼びして、農園芸班で育てた沢山実ったブルーベリーの摘み取り体験を行いました。
幼児さん達は、興味深そうに木に実っているブルーベリーを見つめ、食べたり、お土産にたくさん摘み取っていました。
朝からとても暑い日でしたが、元気な声が畑に響き、とても楽しい体験になったようでした。



PT指導による運動療法について

今年度からリハビリテーションの導入を開始しました。月に一度、市内「うちりハ」の理学療法士さんに来ていただき、利用者それぞれに合った運動療法(ストレッチ)、更に、転倒防止を目的とした身体作りのための健康体操を取り組んでいます。
利用者の皆さんが身も心もリフレッシュしながら、健康で安全な毎日を過ごせるよう、積極的に取り組んでいきます!



新型コロナウイルス感染症の関係で、施設イベントや外出が軒並み縮小傾向となり、利用者の皆さんには非常に残念な思いをさせてしまっています。
中でも、花園内で楽しめる様々なイベントを企画・実施しています。実施したイベントについては、花園ホームページにて、掲載しますのでぜひご覧下さい。